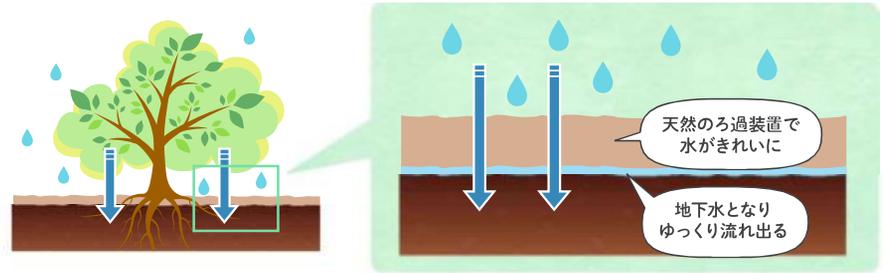


森林の役割って？

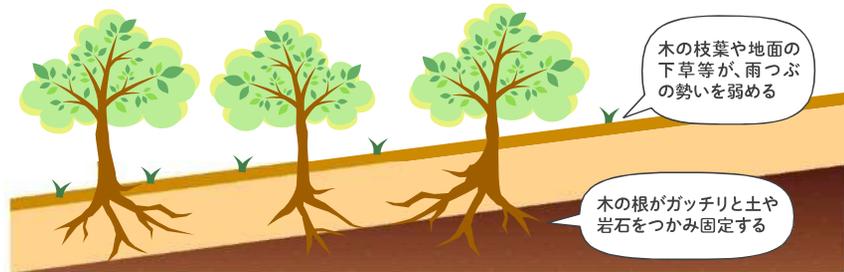
「水を育む」ってどういうこと？

森林の土は小さなすき間がたくさんあり、降った雨はまるでスポンジにしみこむように、ゆっくりと土にしみこんでいきます。そして、土の天然のろ過装置を通してきれいな水になって地下水となり、ゆっくり流れ出ます。これを森の「水源かん養機能」といいます。



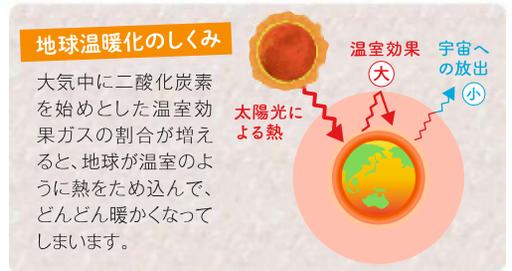
「土砂災害から生活を守る」ってどういうこと？

森林は、木の枝葉や地面の下草、落葉・落枝に覆われています。これらがあることで、雨が降った際はその勢いを弱め、土砂が流れ出ることを防いでいます。また、木の根が土や岩石を固定することから、土砂崩れを防いでくれています。これを森林の「山地災害防止機能/土壌保全機能」といいます。



「二酸化炭素をため込み、気候変動を緩和する」って？

光合成をすることで、木は大きく成長します。光合成とは、空気中の二酸化炭素(CO₂)を吸収し、炭素(C)を取り込んで、酸素(O₂)を排出する働きのことです。炭素を木の幹や枝などに貯め込むことで、地球温暖化防止に役立っています。



どうして森林を守らないといけないの？

私たちの生活を守り、豊かにしてくれるから
 森林は、ここで紹介したものを始めとした、たくさんの役割を持っています。だからこそ、私たちは森林を大切に守り育てていき、未来に引き継いでいく必要があるのです。

ほかにも、森林が私たちの暮らしとどう繋がっているか、考えてみよう！



NEXT
 森林を作るお仕事に就くには